

Cisco Industrial Ethernet 2000シリーズスイッチ用Cisco IOSソフトウェアのDoS脆弱性

Medium	アドバイザリーID : cisco-sa-20160215-ie2000	CVE-2016-1330
	初公開日 : 2016-02-15 14:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 6.1	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCuy27746	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Industrial Ethernet 2000シリーズスイッチ用のCisco IOSソフトウェアによるCisco Discovery Protocol(CDP)パケットの処理における脆弱性により、認証されていない隣接する攻撃者が該当デバイスのリロードを引き起こす可能性があります。

この脆弱性は、巧妙に細工されたCDPパケットの不適切な処理に起因します。攻撃者は、巧妙に細工されたCDPパケットを該当デバイスに送信することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者は該当デバイスのリロードを引き起こす可能性があります。

シスコでは、本脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしていません。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは次のリンクで確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160215-ie2000>

該当製品

脆弱性のある製品

Cisco IOSソフトウェアリリース15.2(4)Eが稼働するCisco Industrial Ethernet 2000シリーズスイッチには脆弱性が存在します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアのアップグレードを検討する場合は、<http://www.cisco.com/go/psirt> の [Cisco Security Advisories and Responses](#) アーカイブや後続のアドバイザリを参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20160215-ie2000>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	-	Final	2016年2月15日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な

情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。